

# 風力発電機開発に着手

## 人材派遣業のコスモウインズ



小代力社長

同社は03年に設立。人材派遣業を中心に事業を展開している。07年に、エネルギー事業として太陽光発電施設の設計施工に進出。稲沢市に発電出力237キロワットの太陽光発電施設を設置するなど、事業拡大を進めている。16年6月期売上高は6億6千万円の見込み。従業員は75人。

## 三重大と提携 17年9月実用化へ

人材派遣業のコスモウインズ(本社名古屋市中区錦、万円の見込み。すでにエネルギー事業として、太陽光発電施設の設計施工と発電に取り組みしており、新たに風力発電機の設計施工に参入する。エネルギー事業の拡大により、20年6月期売上高を現在の2・3倍の15億円に引き上げる計画。

将来的には、大型風力発電機や水力発電機の開発にも着手したい考え。25年6月期までに、売上高30億円を達成する目標で、研究開発のために設備投資を計画している。

小代力社長は「自然エネルギーを活用した発電は、必ず必要となる分野。いち早く取り組み、将来的に株式公開を目指す企業に成長させたい」と話している。



開発を進める小型風力発電機の試作モデル

6月に、愛知県が将来の成長が見込める分野の研究開発に対して交付する補助金「新あいち創造開発研究補助金」の認定を受けた。小型風力発電機の研究開発で同認定を受けたのは、同社が初めてとなる。

現在、国内の小型風力発電機の多くは、欧米からの輸入品。同社は、三重大大学の清水幸丸名誉教授の指導により、純国産の小型風力発電機の開発と販売を目指している。すでに試作品が完成しており、大量生産と中部電力との接続協議が課題となっている。

同研究会は、今後成長が見込まれる医療・福祉・健康産業の振興と、医療介護に関する機器・ロボットの開発および普及を推し進めるため、産学官、病院、介護施設などが連携して新設されることになった。

## 名古屋医療と産学官が連携

研究会 来月キックオフイベント

名古屋市と公益財団法人名古屋産業振興公社は、新しい研究会として「医療介護ものづくり研究会」を立ち上げる。研究会には、企業や研究機関など100団体の参加を見込んでいる。キックオフイベントは8月30日午後2時から、名古屋市中区六番町から、名古屋熱田区六番町の名古屋市工業研究所ホールで開催。医療介護ものづくりに関する産学官の専門家による講演会が行われる。

8月30日のキックオフイベントの講演会では、名古屋市民経済局の青木猛参事が研究会の事業内容を説明するほか、名古屋工業大学大学院の森田良文産学官連携センター副センター長による「医工・産学官連携によるリハビリ医療におけるものづくり」、西島メディカル

研究会では、医療分野に詳しい「連携支援コーディネーター」2人が参画し、伴走型支援を行う計画。問い合わせは、事務局(名古屋産業振興公社研究推進部)内、電話052・736・5680)まで。

### 名古屋

情報は名古屋デスクへ

TEL 052(561)5212  
FAX 052(561)5207

購読のお申し込み

0120・605・123  
10時~18時(日・祝日除く)

WEBでのお申し込み

中部経済 検索

### 部屋セレクト

おへやさかしは、株式会社 S-M-O-C-I

## 京都屋 きものお手入れ専門店

### わが町のこだわり

きものお手入れ専門店、屋(名古屋市中区千代田の10、電話052・3229329)の店主、鷺見正和の信条は「お預かりしたものは必ず直して返す」。京都のみ抜き、丸洗い、カレ落しやけ直しなど、着物加工本請け負う専門店だ。鷺見正和は今年6月、全国きもの加工会の会長に就任した。

## 鷺見正和



京都で着物加工を修業した鷺見さん

同日垣重彦副社長による「メーカーの立場から見た治療機開発の現状」など4件の講演が予定されている。

ら、名古屋の同業者と交際し、産学官連携の会期中を見込んでいる。